

豊かな森林と暮らしを支える

# 島根の林道



島根県 農林水産部 森林整備課



国産材ハレプ70%  
(間伐材ハレプ10%を含む)



# 林道の役割

林道は森林を健全な状態で維持・管理し、森林からの様々な恩恵を私たちの生活の場に運ぶために不可欠な施設です。

また、山村地域の人々の通勤、通学などの生活道や、森林と山村・都市を結び森林を憩いの場として提供するなど大切な役割を担っています。

## ●林業・林産業の振興 ●適切な森林整備の推進

林道が整備されることにより、林業生産性が向上し、林業・林産業の振興につながります。

また、森林の持つ公益的な機能の発揮には適切な森林整備が不可欠です。林道は森林とのアクセスを良好にし、森林整備を円滑に行えるようにする機能を持っています。



木材の搬出（雲南市 小田線）

## ●保健休養機能などの発揮

現代はストレス社会と呼ばれ、多くの人々が癒しの場を求めて森林を訪れます。また、豊かな自然に囲まれた森林は学習や教育の場としても活用されています。

林道は山村や都市と森林をつなぎ、多くの人々が森林を訪れるときに欠かせない存在です。



林道でのウォーキングイベント（松江市 美保関線）

## ●地域交通の改善 ●迂回路としての役割

急峻な山地に囲まれた山村地域では、住民の生活道として、林道は重要な役割を果たしています。

また、災害により国道や県道などが通行止めになった際には、迂回路としての機能を発揮することもあります。



市営バスの運行（松江市 美保関線）

林道の開設は島根県（県土整備事務所 治山・林道グループ）及び市町村が行い、完成後の維持・管理は市町村が行っています。

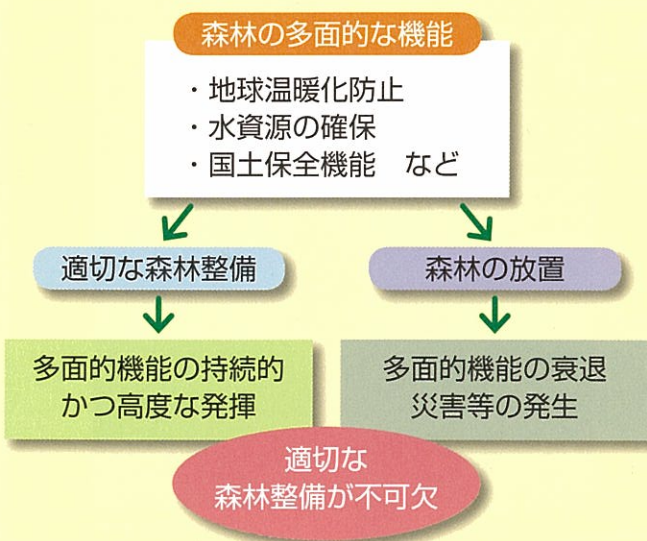


# 森林整備に不可欠な林道

地球温暖化防止、水資源の確保、国土保全などの森林の多面的な機能を十分に発揮するためには森林の適切な整備・管理が欠かせません。

林道は手入れが必要な森林へのアクセスや、機械化等を通じた適切な森林整備を実施していく上で不可欠な施設であり、森林を守るために重要な役割を果たしています。

## 森林の多面的な機能の発揮に欠かせない森林整備



## 森林整備を担う多様な林道

森林整備は急峻な山地で行われることが多く、規格の大きな林道だけでは森林の奥深くまでは到達できません。そこで、地形や用途に合わせ、幹線林道と支線林道、作業道・作業路などを使い分け、森林を広くカバーすることにより、森林整備を容易にしています。





# お役に立ちます! 林道事業

## お役立ち その1 迂回路としての役割

平成18年の梅雨前線豪雨（7/15～7/22）による最大24時間雨量268mm、最大時間雨量41mmという異常な降雨により、松江市内各所でがけ崩れ等の災害が多発しました。この降雨により、本土と隠岐島を結ぶフェリー・高速船の発着港としても知られる美保関町七類地区（約300戸、1,000人）につながる国道及び県道が被災しました。

この際、林道美保関線が唯一のライフラインとして機能し、地区住民の孤立を救うばかりではなく、隠岐島と本土との交通手段の確保にも大きく貢献しました。



▲国道485号線と県道松江鹿島美保関が通行止めとなり、林道美保関線が七類地区への唯一のルートとなった。



▲国道485号線→市道への迂回路表示



▲市道→林道美保関線への迂回路表示



## 2 森林学習の場

近年、環境学習や労働体験の一環として森林における学習会が数多く催されています。子ども達は林道を使い森林を訪れ、様々な体験をし学校へと戻っていきます。森林でのこうした体験は、子ども達に森林と環境についての見識を深めるきっかけを与えます。

現在、林業は深刻な担い手不足に悩まされていますが、こうした体験をした子ども達が将来、林業を志してくれる可能性もあります。



▲高性能林業機械による作業を見学する子どもたち（浜田市 金城弥栄線）



▲林道脇の作業場で森林整備について説明を受ける子どもたち（隠岐の島町 上ヶ床線）

## 3 地域交通の改善

林道は森林整備のための道としての役目とともに、山村等に暮らす人々の生活道として重要な役割を果たしています。通勤・通学など地元住民の生活に密着した林道は、そこに暮らす人々にとって欠かせない存在となっています。



▲一般車両が通行する林道（邑南町 新山線）



▲集落間を結ぶ林道（松江市 美保関線）



# 効率的な事業の実施と環境への

## ●工法の再検討

掘削により発生した土を補強土壁の中詰材として利用する事により、残土の有効利用・コストの縮減を図る。



コンクリート擁壁



補強土壁工の採用

残土の有効利用

## ●現地発生材の有効利用



伐根等をチップ化し法面緑化の基盤材として利用

## コスト縮減

工法の再検討

新技術の採用

波状線形

現地発生材

U型側溝

## ●新技術の採用

軽量で施工性の高い耐圧ポリエチレンリブ管を採用



コンクリート基礎



再生砕石基礎

## U型側溝



路肩 500  
車道幅員 4,000  
L型側溝の路肩内設置



# 配慮

林道の開設に当たっては、コスト縮減はもとより、自然との共生を図る観点から、『エコリンドー』としての整備を推進しています。

## ●波状線形の採用



波状線形（地形に沿った線形）  
で林道を開設



コスト縮減

土工量全体の縮減



エコリンドー

自然の改変量を  
減らし共生を図る

# エコリンドー

の採用

有効利用

L型側溝

間伐材の有効利用

## ●間伐材の有効利用

間伐パネル 視距の確保・維持管理費の軽減



間伐材木柵工 盛土法面の土砂流出防止を図る



L型側溝



土工量・法面面積の縮減、  
改変量の縮減

切土法面積の縮減  
掘削土砂の縮減